



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場会社名 山一電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6941 URL <http://www.yamaichi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 太田佳孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員経理部長

(氏名) 加藤勝市

TEL 03-3778-6111

四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	5,589	3.1	136	—	393	—	347	—
25年3月期第1四半期	5,424	△5.3	△210	—	△454	—	△546	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 478百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △632百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	14.92	—
25年3月期第1四半期	△23.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	22,923	12,730	55.5	545.85
25年3月期	22,828	12,252	53.6	525.32

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 12,711百万円 25年3月期 12,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,280	△2.1	60	—	△60	—	△90	—	△3.86
通期	21,380	7.1	540	—	320	—	250	—	10.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	23,289,775 株	25年3月期	23,289,775 株
26年3月期1Q	2,790 株	25年3月期	2,790 株
26年3月期1Q	23,286,985 株	25年3月期1Q	23,286,985 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経営環境は、新政権による経済対策および金融政策を受けて長期間続いた円高基調が是正され輸出企業を中心に収益の改善がみられましたが、欧州の債務問題や新興国での経済成長鈍化などの不安要素は解消されておらず、本格的な実体経済の回復を確認するにはまだ時間を要する状況が続いております。

当社グループの関連するエレクトロニクス市場は、スマートフォンやタブレット端末等のモバイル機器向け需要は高い成長を持続し、また半導体関連や自動車関連の需要においても緩やかな回復となりました。

このような経営環境の中で当社グループは、基幹事業に経営資源を集中し、持続的成長と収益力の向上を図るべく、国内EMS事業を営む連結子会社マティ株式会社の解散、連結子会社プライコンマイクロエレクトロニクスINC.のEMS事業の譲渡および工場移転、固定費の削減などの構造改革に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,589百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益136百万円（前年同期は営業損失210百万円）となりました。経常利益については円安による為替差益241百万円の計上により393百万円（前年同期は経常損失454百万円）、四半期純利益は347百万円（前年同期は四半期純損失546百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[テストソリューション事業]

当事業は、拡大が続くモバイル機器向け半導体の生産能力拡充の動きが強まり、半導体の先端投資および増産投資が積極的なものへと転じたことから、メモリ系およびロジック系半導体向け検査用ICソケット製品の販売は好調な推移となりました。また、自動車市場の回復を受け、車載用半導体向け検査用ICソケット製品の販売も新製品の投入効果もあり、堅調な推移となりました。

その結果、売上高2,479百万円（前年同期比14.7%増）、営業利益453百万円（前年同期比49.9%増）となりました。

[コネクタソリューション事業]

当事業は、アミューズメント市場向け需要の落ち込みによりYFLX製品が低調な推移となりましたが、デジタルカメラやプリンタ向けコネクタ製品の一部に回復基調が見られました。また、国内ソーラーパネル向けや海外産業機器向けコネクタ製品においては堅調に推移いたしました。なお、損益面では通信インフラおよび車載向けなどの新製品の投入によるプロダクトミックスの改善と構造改革による固定費削減の効果もあり、改善が図られました。

その結果、売上高2,654百万円（前年同期比11.5%増）、営業損失81百万円（前年同期は営業損失181百万円）となりました。

[光関連事業]

当事業は、主力のデジタルカメラやデジタルビデオカメラ等の映像機器向け薄膜フィルタ製品の販売が低調な推移となりましたが、光通信向け薄膜フィルタ製品の販売が比較的好調に推移したことや総経費削減の効果もあり、黒字確保となりました。

その結果、売上高260百万円（前年同期比17.6%減）、営業利益6百万円（前年同期は営業損失25百万円）となりました。

[EMS事業]

当事業は、国内EMS事業を営むマティ株式会社が平成25年6月10日をもって事業を終息し、平成25年度内に清算終了する予定であります。また、プライコンマイクロエレクトロニクスINC.のEMS事業については平成25年6月28日に譲渡いたしました。従いまして、当事業からは当第1四半期をもって撤退いたしました。

事業の撤退による生産縮小等の結果、売上高195百万円（前年同期比15.8%減）、営業損失81百万円（前年同期は営業損失64百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計につきましては、22,923百万円（前期末比94百万円増）となりました。

流動資産は、借入金の返済等により現金及び預金が減少したものの、プライコンマイクロエレクトロニクスINC.のEMS事業譲渡により未収入金を計上したことなどから665百万円の増加となりました。

有形固定資産は、プライコンマイクロエレクトロニクスINC.のEMS事業譲渡により建物及び構築物等が減少したことなどから779百万円の減少となりました。

投資その他の資産は、投資有価証券の評価額が増加したことなどから214百万円の増加となりました。

負債合計につきましては、10,192百万円（前期末比383百万円減）となりました。

流動負債は、短期借入金が減少したことなどから309百万円の減少となりました。

固定負債につきましては、長期借入金が減少したことなどから73百万円の減少となりました。

純資産合計につきましては、12,730百万円（前期末比478百万円増）となりました。

株主資本は、当期純利益を計上したことから347百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

不確定要素はありますが、現時点では平成25年5月17日の「平成25年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前々期連結会計年度に引き続き、前連結会計年度においても多額の営業損失及び当期純損失を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

しかし、当社グループは、当該状況を解消するために、基幹事業であるテストソリューション事業及びコネクタソリューション事業に経営資源を集中し、持続的成長と収益力の向上を図るべく、前連結会計年度においてPVソリューション事業の廃止を実施したほか、連結子会社プライコンマイクロエレクトロニクスINC.のEMS事業の譲渡及び液晶パネルの組立・検査業務などのEMS事業を営む連結子会社マティ株式会社の解散及び清算を決議いたしました。

その他の損益改善のための施策として、固定費削減を目的とした希望退職の実施、給与・賞与等の削減及び固定資産の減損処理等を実施いたしました。今後も販売・開発拠点の海外シフト等によりさらなる固定費の削減を推し進めることに加え、テストソリューション事業において、競合他社を凌駕する技術の確立による海外顧客の開拓の強化、コネクタソリューション事業において高付加価値が見込める産業機器市場及び車載関連市場への注力、Y F L E X製品の海外生産シフトも視野に入れた開発・生産体制の強化等により損益の改善を図り、黒字化を目指しております。

資金面につきましては、前連結会計年度において売掛債権のファクタリング及び有形固定資産のセール・アンド・リースバック取引等により資金を確保したほか、子会社における余剰資金を配当により回収し、当社においてグループ内資金の管理を行っております。今後も連結子会社のEMS事業の譲渡による新たな資金の獲得に加えて、事業計画を達成することにより、主要金融機関からは継続的な支援が得られるものと考えております。

上記により、当第1四半期連結累計期間において継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断し、四半期連結財務諸表に「継続企業の前提に関する事項」は記載しておりません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,805,780	3,505,120
受取手形及び売掛金	3,936,584	4,014,829
商品及び製品	1,220,424	1,091,069
仕掛品	300,112	254,907
原材料及び貯蔵品	1,353,897	1,330,228
繰延税金資産	37,392	40,517
その他	634,694	1,742,129
貸倒引当金	△18,433	△43,228
流動資産合計	11,270,452	11,935,572
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,774,714	1,994,437
機械装置及び運搬具（純額）	1,448,266	1,303,188
工具、器具及び備品（純額）	1,352,952	1,355,081
土地	3,440,176	3,440,732
リース資産（純額）	41,250	42,481
建設仮勘定	187,620	329,933
有形固定資産合計	9,244,981	8,465,854
無形固定資産	92,493	86,945
投資その他の資産		
投資有価証券	1,263,087	1,453,152
繰延税金資産	58,678	66,327
その他	1,007,449	1,024,406
貸倒引当金	△114,447	△114,371
投資その他の資産合計	2,214,767	2,429,515
固定資産合計	11,552,242	10,982,314
繰延資産	5,519	5,304
資産合計	22,828,213	22,923,191

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1, 279, 874	1, 281, 856
1年内償還予定の社債	35, 000	35, 000
短期借入金	5, 508, 700	5, 146, 520
未払法人税等	54, 370	82, 649
賞与引当金	110, 198	104, 745
繰延税金負債	65, 347	62, 345
その他	1, 780, 344	1, 810, 851
流動負債合計	8, 833, 836	8, 523, 968
固定負債		
社債	197, 500	197, 500
長期借入金	691, 300	559, 900
退職給付引当金	24, 642	27, 873
役員退職慰労引当金	23, 500	24, 397
資産除去債務	17, 899	18, 002
繰延税金負債	154, 354	218, 559
その他	632, 958	622, 725
固定負債合計	1, 742, 154	1, 668, 958
負債合計	10, 575, 990	10, 192, 926
純資産の部		
株主資本		
資本金	10, 047, 063	10, 047, 063
資本剰余金	4, 520, 001	1, 586, 633
利益剰余金	△1, 449, 293	1, 831, 456
自己株式	△3, 754	△3, 754
株主資本合計	13, 114, 017	13, 461, 399
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	191, 392	299, 332
為替換算調整勘定	△1, 072, 318	△1, 049, 438
その他の包括利益累計額合計	△880, 925	△750, 105
少数株主持分	19, 131	18, 971
純資産合計	12, 252, 222	12, 730, 264
負債純資産合計	22, 828, 213	22, 923, 191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
売上高	5,424,021	5,589,933
売上原価	4,222,002	4,034,260
売上総利益	1,202,019	1,555,672
販売費及び一般管理費		
給料	616,066	654,960
賞与	33,430	33,669
福利厚生費	103,932	111,904
運賃諸掛	71,943	73,769
旅費及び交通費	53,752	43,582
減価償却費	55,486	43,334
支払手数料	57,787	67,063
賃借料	81,969	97,091
雑費	338,045	293,377
販売費及び一般管理費合計	1,412,416	1,418,752
営業利益又は営業損失 (△)	△210,396	136,920
営業外収益		
受取利息	2,308	2,540
受取配当金	8,104	8,407
為替差益	—	241,636
持分法による投資利益	—	8,343
スクラップ売却益	13,541	17,871
助成金収入	28,308	15,653
その他	10,949	19,421
営業外収益合計	63,213	313,874
営業外費用		
支払利息	47,237	44,013
為替差損	244,515	—
持分法による投資損失	7,549	—
その他	7,644	13,208
営業外費用合計	306,946	57,222
経常利益又は経常損失 (△)	△454,129	393,572
特別利益		
固定資産売却益	4,376	28,339
特別利益合計	4,376	28,339
特別損失		
固定資産売却損	33	—
関係会社清算損	72,881	—
特別損失合計	72,915	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△522,669	421,912
法人税、住民税及び事業税	31,284	82,952
法人税等調整額	△7,835	△8,105
法人税等合計	23,448	74,847
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△546,117	347,065
少数株主損失 (△)	△101	△316
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△546,016	347,382

(四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△546, 117	347, 065
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△85, 760	107, 940
為替換算調整勘定	△17, 056	12, 800
持分法適用会社に対する持分相当額	16, 211	10, 236
その他の包括利益合計	△86, 605	130, 976
四半期包括利益	△632, 723	478, 041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△632, 521	478, 201
少数株主に係る四半期包括利益	△201	△159

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	テストソ リユース ン事業	コネクタ ソリユース ン事業	PVソリ ユース ン事業	光関連 事業	EMS 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	2,161,439	2,380,846	334,087	315,521	231,924	5,423,819	201	5,424,021	—	5,424,021
セグメント間 の内部売上高	—	—	—	—	—	—	6,681	6,681	△6,681	—
計	2,161,439	2,380,846	334,087	315,521	231,924	5,423,819	6,883	5,430,703	△6,681	5,424,021
セグメント利益 又は損失(△)	302,282	△181,118	△109,273	△25,153	△64,490	△77,753	322	△77,430	△132,966	△210,396

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社費用△94,461千円及び連結調整額△38,504千円であります。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント(注) 2					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	テストソ リユース ン事業	コネクタ ソリユース ン事業	光関連事業	EMS事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,479,361	2,654,993	260,102	195,298	5,589,756	177	5,589,933	—	5,589,933
セグメント間 の内部売上高	—	—	—	—	—	8,612	8,612	△8,612	—
計	2,479,361	2,654,993	260,102	195,298	5,589,756	8,789	5,598,545	△8,612	5,589,933
セグメント利益 又は損失(△)	453,141	△81,448	6,201	△81,580	296,313	531	296,844	△159,924	136,920

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サービス事業等を含んでおります。

2. PVソリユースン事業は前連結会計年度において廃止しております。

3. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社費用△41,010千円及び連結調整額△118,913千円であります。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。